



くのへ 社会福祉法人 九戸村社会福祉協議会

社協だより



令和元年6月26日 村体育センターにおいて、第32回九戸村老人クラブ体育祭が開催され、9チームが参加し各競技とも熱戦が繰り広げられました。

順位は 優勝…………… 伊保内上老人クラブ
 準優勝…………… 荒谷老人クラブ
 3位…………… 伊保内下老人クラブ



主な内容

- 新役員のご紹介…………… P2
- 平成30年度事業報告…………… P3～5
- 平成30年度収支決算報告…………… P6
- ボランティアのひろば…………… P7
- インフォメーション…………… P8

この広報は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

**九戸村社会福祉協議会
新役員のご紹介**

当協議会において任期満了に伴う役員改選が行われました。令和元年度定時評議員会において9名（理事7名、監事2名）の方が選任され、第2回理事会での互選の結果、会長には木村正樹理事が再任されました。



会長再任にあたって

近年、我が国においては、急速な人口減少、核家族化、高齢化、生涯未婚率の上昇などによる高齢者世帯や単身世帯の増加とともに、格差や貧困、引きこもりや孤立など、大きな生活課題、社会課題への支援や対策が必要となってきています。

九戸村にあってもこれらの課題が、もっと顕著に表われております。少子高齢化はさらに進み、人口は5700人台となり限界集

木村正樹 会長 落が半数を超える状況です。これらに対応する福祉活動の重要性は村民の多数に認識されているところであり、社会福祉協議会に対しまして日頃から絶大なる御支援を頂戴しておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、時代は平成から令和に元号が移り、新しい時代となることを想像しているところです。昨年度、村の福祉計画の策定を受け、社協では行動計画を策定しました。今年度から実践となります。既に軌道に乗っているものもあれば、これからのものもあります。いずれ、役職員一丸となって村社会福祉のため頑張る参りますので今後とも御支援、御指導を賜りますようお願いいたします。

さる6月24日に平成30年度終了の定時評議員会が開催され、理事・監事も改めて選任され、理事監事の4名の異動があったところです。退任なされる4名の方々は何れも長年にわたり社協の要職にあたって頂き、その功績に対しまして深甚なる感謝の意を表するものです。

今後とも社協にご助言等頂ければ幸に存じます。

最後になりましたが、その後の理事会で私（木村）が4期目の会長に互選されました。元より微力な私ですが、初心を忘れず行政と一緒に九戸村の福祉活動（政策）に頑張る参る所存ですので、村民の皆様方の暖かい御支援をよろしく願いいたしますとともに、社協へもますますの御理解、御協力を賜りますようお願いいたします、御挨拶とします。

社会福祉法人九戸村社会福祉協議会役員

任期：令和元年6月24日～令和2年度に関する定時評議員会の終結の時まで

役職名	氏名	所属団体等	役職名	氏名	所属団体等
会長	木村正樹	有識者	理事	藤川恵子	九戸村地域婦人団体協議会
副会長	若山秀一	九戸村民生委員・児童委員協議会	理事	和蛇田達也	社会福祉法人九戸福祉会
副会長	高崎覺志	九戸村老人クラブ連合会	監事	高橋治巳	税理士
理事	安藤サチ子	九戸村ボランティア連絡協議会	監事	橋本幸男	九戸村監査委員
理事	平中昭夫	九戸村身体障害者協会			

前理事・監事の、中澤哲雄様 佐々木トマ様 栗谷川洋子様 小野寺隆雄様
ご協力大変ありがとうございました。

平成30年度事業報告

6月24日に令和元年度定時評議員会が開催され、平成30年度の事業報告ならびに収支決算が承認されました。皆様からご協力いただいた会費及び補助金収入、受託金収入、介護保険収入を財源として様々な事業に取り組みましたので、ご報告いたします。

法人運営事業

当協議会の基盤事業であり、法人運営の効率化・組織強化を図るとともに、住民の参加と財政基盤の確立を目的として全世帯の加入を推進し、90.7%にあたる世帯より会費のご協力をいただきました。

○一般会費収入 1,317,400円 (1,882世帯)

ボランティア活動推進事業

ボランティアの育成を図るとともに、各ボランティア団体活動への支援、各関係機関との連絡調整、企画立案等を行い、ボランティア活動の推進に努めました。

○ボランティア登録者数 (年度末) 個人 8名
団体 14団体 (243名)

○ボランティア育成事業

・災害ボランティア講習会
(炊き出し訓練、心肺蘇生法) 参加者 56名

○ボランティア活動事業

・声の広報朗読ボランティア 延べ 83名
・地域ごとふれあいサロン 4ヶ所

延べ 57回開催

・給食サービス配達ボランティア
延べ 51名 455食配達

・デイサービス等ボランティア 延べ 56名

・福祉バザー・ガレージセール
年 2回開催 延べ 66名

・子育てサロン 年 22回開催
参加親子延べ 53組 ボランティア延べ 42名

・ふれあい交流会
年 2回開催 ボランティア 7名 参加者 11名

・地域ふれあいサロン
10月24日実施 独居高齢者参加者 46名

居住手作り会



毎月1回、ボランティアの皆さんより福祉センター居住の皆さんへ手作りランチがふるまわれています。

地域福祉活動事業

移送サービス事業

村内に居住する高齢者等を対象として、病院への定期通院時で月2回を限度とし、車いす仕様車およびストレッチャー仕様車での移送サービスを実施。

○利用者延べ人数 27名

給食サービス事業

自立支援事業の一環として、独居高齢者・高齢者世帯の希望する方々に対し、安否確認をも兼ねて週1回昼食を提供。

○登録者数 14名

水中ウォーキング事業

水中で無理のない運動を行うことで体力の維持増進を図り、介護予防に資することを目的として実施。

○週 2回開催、年間開催回数 96回

○参加者延べ人数 483名

生活管理指導員派遣事業

介護予防、介護保険非該当の村内在住高齢者（概ね65歳以上）の日常生活支援を目的として、村からの委託事業として実施。

○延べ派遣人数 38名

訪問介護事業

介護認定者を対象として、居宅において家事援助、身体介護、通院介助等日常生活支援を実施。

介護予防・日常生活支援総合事業

○年間利用者延べ人数 77名

○年間派遣回数 440回

介護保険

○年間利用者延べ人数 218名

○年間派遣回数 3,429回

デイサービス事業

日常生活支援を行い、閉じこもり防止、いきがいくくり、介護度進行の抑制等を目的として、介護予防、介護認定者のデイサービス事業を実施。

○年間延べ利用人数 6,483名

総合事業	総支援1	総支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1,285	330	1,263	1,434	1,283	586	209	93

総合福祉センター管理運営事業

総合福祉センターでは、デイサービスセンター、ヘルパーステーション、訪問看護ステーション、活動支援センター、障がい者地域活動支援センター、居住部門、当協議会事務局等が業務を実施している他、機能回復訓練室の各機器及びカラオケルームは、デイサービスでの使用時間帯を除いて、広く住民に開放いたしました。

共同募金配分金事業

○一般募金配分金

区分	金額(円)	内 訳
老人福祉活動費	9,804	ヤクルト給付事業
	100,000	ふれあいマッサージ事業
	34,160	ひとり暮らし老人の集い
	112,160	総合相談事業
	59,674	買い物支援事業
障がい児・者活動費	20,000	地域活動支援センターメール活動費
児童・青少年活動費	210,000	福祉協力校助成金 7校
	45,050	子育てサロン遊具
福祉育成・援助活動費	214,000	広報費
	98,880	心配ごと相談事業
	36,528	健康福祉大会事業
	121,716	ボランティア活動推進事業
	29,033	スノーバスター
	91,602	ボランティア活動保険
計	1,182,607	

○歳末たすけあい配分金

区分	金額(円)	内 訳
在宅者配分金	720,000	90世帯
施設配分金	151,500	村内3施設 利用者123名
地域福祉活動費配分	204,500	村内通所介護3施設 利用者229名
計	1,076,000	

健康福祉大会開催事業

大会を開催し、30年度福祉功労者を讃えるとともに九戸村の更なる福祉向上を目指して一層努力することを宣言。

平成30年度 第24回九戸村健康福祉大会

- ☆ 福祉功労者 <会長表彰>
九戸中学校第3学年 様
 特別養護老人ホーム折爪荘及び九戸村総合福祉センターでの清掃奉仕作業を実施された功績
佐々木トマ 様
 永年にわたりボランティア連絡協議会の会長として地域の福祉増進に努められた功績。
- ☆ 福祉功労者 <感謝状>
九戸村地域婦人団体協議会 様
九戸村舞踊研究会 様
- ☆ 岩手県共同募金会会長感謝状の伝達
おりつめ工房 様
九戸村山友会 様



九戸中学校第3学年 様



佐々木 トマ 様

九戸村福祉基金事業

村全体の福祉に活用することを目的として、各団体・個人等からの寄附金を基金として積み立てを実施。

○平成30年度末福祉基金積立額
 26,330,877円 (内本年度分積立額267,227円)

ひとり暮らし老人の集い事業

「いきいきふれあい集い」を開催し、ひとり暮らし高齢者が顔を合わせ歓談を通して孤独感の解消や相互の親睦を深め、老後の生活を豊かなものにするを目的として実施。

○11月22日開催 参加者76名

ヤクルト給付事業

ひとり暮らし老人に定期的にヤクルトを給付することにより健康の維持増進を図るとともに、配達員によりその安否確認を行うことを目的として実施。

○平成30年度利用者 1名

福祉協力校指定事業

村内7校を協力校として指定し、福祉への興味を促すとともに、村内福祉活動への参加・協力を呼びかけました。

広報事業

社協だよりを発行(年4回)し、村の福祉、当協議会の事業について広くお知らせし、福祉活動の推進に努めました。

心配ごと相談事業

住民の様々な悩みに対応すべく、弁護士による無料法律相談を実施。

○実施回数 6回、相談者延べ人数 10人

助け合い金庫運営事業

生活上又は医療継続上、その他生計維持のために一時的に現金を必要とし、かつ他から融資を受けることのできない方を対象として貸し付けを実施。

- 新規貸付 2件 100,000円
- 年度末貸付残高 15件 483,500円

生活福祉資金運営事業

岩手県社会福祉協議会からの貸付・債権回収業務の委託事業で、民生委員の協力を得ながら、所得の少ない世帯、障がい者世帯、高齢者同居世帯等に対して、経済的自立と生活意欲の助長、社会参加の促進を図ることを目的として実施。

- 平成30年度新規貸付 教育支援資金 1件

障がい福祉サービス事業

障がい者が地域社会で自立した生活を送ることができるよう、居宅介護事業（ヘルパー派遣事業）を実施。

- 延べ派遣人数 88名

高齢者就労推進事業

高齢者が追加的収入を得るとともに、健康を保持し、生きがいをもち、地域社会に貢献することによって、より有意義な生活を送ることができるよう、九戸村シルバー人材センターとともに村内の高齢者の就労推進を実施。

- 年度末シルバー会員数 76名
- 受注件数 450件
- 受注金額 20,771,075円

居宅介護支援事業

対象者の生活機能、健康状態等を把握し、対象者に最もあったケアプランを作成するとともに、それに基づいて指定居宅サービス事業者との連絡調整等を実施。

- ケアプラン作成件数 788件
- 年度末サービス提供件数 63件

日常生活自立支援事業

高齢者や障がい者が地域で安心して生活が送れるよう福祉サービスの利用手続きの援助や代行、またそれにとまなう日常的な金銭管理を実施。

- 平成30年度末利用者 2名

福祉団体育成事業

九戸村身体障害者協会、二戸視覚障害者協会への助成事業を行うとともに支援に努めました。

- 九戸村身体障害者協会へ 80,000円
- 二戸視覚障害者協会へ 5,000円

地域活動支援センター（エール）事業

障がい者等の地域生活支援の促進を図ることを目的とし、創作活動又は生産活動の機会の提供と社会との交流促進に努めました。

- 開所日数 229日
- 利用者延べ人数 363名

学童保育事業

勤労世帯における小学校児童のうち、放課後等に保護を要する児童を対象として遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図るため、村からの委託を受け実施。

- 年度末登録人数 54名
- 年度末利用者延べ人数 9,545名



福祉団体等への支援活動

当協議会では、各福祉団体等への支援、団体事務局を行い、活発な活動に繋げることを目的として、支援活動を行いました。

- ・九戸村共同募金委員会事務局
- ・九戸村老人クラブ連合会事務局
- ・九戸村身体障害者協会事務局
- ・九戸村ボランティア連絡協議会事務局
- ・九戸村シルバー人材センター事務局



老人クラブパソコン教室



各老人クラブ会長等出席

ボランティアのひろば

九戸村ボランティア連絡協議会 新会長のご紹介



九戸村ボランティア連絡協議会の任期満了に伴う役員改選が令和元年度の総会で行われ、会長には野菊の会代表の石川ツエさんが就任しました。

任期は平成31年4月～令和3年3月までとなります。

石川ツエ 会長 よろしくお願いたします。

福祉バザー



声の広報ボランティア



毎年恒例の福祉バザー、たくさんのお客さんに足を運んでいただきました。

「高齢者・障がい者疑似体験および車椅子体験学習」

お年寄りや身障者の見え方や聞こえ方、体の動きを体験する事で、より良い接し方を考えたいとの依頼を受け、「ハンディキャップ体験」を開催しました。



伊保内小学校 第4学年



長興寺小学校 第4学年

買い物支援バス



月2回、買い物の困難な方の支援を行っています。

九戸村社会福祉協議会職員研修

第3回研修会「生活習慣予防の食事」について講義をいただきました。

健康診断の結果から見える注意すべき点や熱中症について学びました。



講師 二戸保健所 金谷管理栄養士

インフォメーション・information

デイサービスでゆったり のんびり



当協議会では、月曜日～土曜日にデイサービスを実施しています。

お風呂に入り、昼食を食べ、趣味活動やカラオケとゆったりのんびり過ごしています。

デイサービス利用に関する相談、見学等にも対応いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

(お試し利用もできます!!)



デイサービス趣味活動より

「総合相談」を行っています

お気軽にご相談ください

九戸村社会福祉協議会では、日常生活における悩みや心配ごとなど、様々な生活・福祉に関わる相談に応じる「総合相談」を行っております。「総合相談専用電話」は0195-43-3150です。相談は、おいでいただいても電話でも結構です。秘密は厳守しますので、安心してご相談ください。



相談は全て無料です。まずはお電話を！
サイコロサイコロ
☎ 0195-43-3150
社会福祉法人 九戸村社会福祉協議会 ◆担当：東谷川

心配ごと相談所 (無料法律相談)

相続、多重債務、離婚問題、振り込め詐欺等、様々なことでお悩みの方は、お気軽にご相談ください。

日時 9月12日(木) 相談員 上山信一 弁護士
11月14日(木) 相談員 橋本 剛 弁護士
時間 13:30~15:00

(相談時間 1人30分 定員3名)

場所 九戸村総合福祉センター

申込先 九戸村社会福祉協議会 電話41-1200

※事前予約が必要となります。
※相談内容の秘密は守られます。

たすけあい金庫の貸付

- 利用できる世帯…低所得世帯又は一時的な生活困窮世帯で、村内に住所が有り、地区担当民生委員が貸付を必要と認める世帯
- 貸付限度額…1世帯5万円以内
- 貸付の条件…村内に住所が有り、返済能力のある65歳以下の連帯保証人1名が必要
- 貸付利子…無利子
- 返済期間…1年以内
- 返済方法…一括又は月賦返済

福祉サービス苦情解決相談窓口を設置しています

当協議会で提供している福祉サービスについての苦情等の相談窓口を設置しています。

＜相談、苦情等の受付先電話番号＞
☎0195-41-1200

＜相談、苦情等の受付担当者＞
荒田ゆかり、安達さつき

＜第三者委員＞小田野幸、日影恵子
なお、下記においても苦情相談の受付をおこなっておりますので、気軽にご相談ください。

＜岩手県福祉サービス運営適正化委員会＞
☎019-637-8871

「災害義援金」を募集しています

- 【平成30年北海道胆振東部地震災害義援金】
募集期間:令和元年9月28日まで
- 【平成30年7月豪雨災害義援金】
募集期間:令和2年6月30日まで
- 【平成28年熊本地震義援金】
募集期間:令和2年3月31日まで



詳しくは、下記へお問い合わせ下さい。

- ・岩手県共同募金会 ☎ 019-637-8889
- ・九戸村共同募金委員会 ☎ 0195-41-1200

—— 編集・発行 ——

社会福祉法人
九戸村社会福祉協議会

〒028-6502 九戸村大字伊保内7-39-4
(九戸村総合福祉センター内)

TEL 0195-41-1200 FAX 0195-42-2064

ホームページアドレス <http://www.kunohe-shakyo.jp/>

